

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域活力創造事業】

推進当初

申請者	宮崎県ほか5自治体※	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	302,144千円 (57,212千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域の人々が、認定を契機に当地域特有の良さを再認識し、地元への自信と誇りと愛着を感じ、食文化や観光等の地域資源を「産業」に繋がる宝として捉えながら、伝統的な農林業や文化を守り、美しい景観や資源を持続的に維持・継承することを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>【宮崎県】地域活性化組織の収益力強化及び関係人口創出・拡大等 (補助金15,000千円、委託料5,000千円)</p> <p>【諸塚村】関係人口創出拡大及び地域人材の育成等 (補助金20,300千円、委託料5,000千円)</p> <p>【椎葉村】伝統農法普及啓発イベント及び関係人口創出拡大等 (補助金700千円、委託料500千円、その他1,270千円)</p> <p>【高千穂町】都市部でのPR、関係人口創出拡大等 (委託料921千円、その他1,821千円)</p> <p>【日之影町】森林セラピーツアーの実施及び都市部での関係人口創出拡大等 (補助金3,000千円、委託料1,300千円)</p> <p>【五ヶ瀬町】農泊再開に向けた体制構築等 (委託料2,400千円)</p>	 <p>PRイベント</p>  <p>商品開発</p>  <p>森林セラピーツアー</p>  <p>伝統農法普及啓発</p>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>① 5町村観光入込客数 (+14.10万人)</p> <p>② 世界農業遺産ブランド商品開発 (+10品)</p> <p>③ 連携企業数 (+9社)</p>	関連URL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/sesaku/chiho/index.html

※宮崎県、諸塚村、椎葉村、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町の広域連携事業

事業概要【リラックスサーフタウン日向活力創出プロジェクト】

推進当初

申請者	宮崎県日向市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	170,671千円 (31,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際サーフィン大会の誘致や開催支援、ビーチの多面的活用による観光誘客を図る ・デジタル技術を活用した体験型観光コンテンツの企画や造成等を支援し、滞在型観光の促進を図る ・働きながら余暇を楽しむワーケーションを推進し、関係交流人口の推進を図る ・サーフィンやワーケーション等により、地域資源や人の温かさによる都市部等からの移住促進を図る 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○体験型観光等の造成支援やプロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光コンテンツ造成支援 (補助金) 3,000千円、観光コンテンツDX推進事業 (補助金) 3,000千円、日向ファン拡大推進事業 (委託料) 7,000千円 ○サーフィン国際大会World Surf Leagueの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・WSLサーフィン大会の開催支援 (補助金) 5,000千円、大会を活用した観光誘客・情報発信・おもてなしのための運営支援 (補助金) 1,000千円 ○サーフィン等ビーチ環境の魅力発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、SNS、広告等での情報発信 (委託料・役務費・需用費) 6,000千円 ○ワーケーションの魅力発信・地元定着 <ul style="list-style-type: none"> ・PRイベントの実施 (委託料) 2,000千円、地元受入組織の運営 (補助金) 2,000千円 ○サーフィン移住促進 <ul style="list-style-type: none"> ・サーフィン移住プロモーション動画作成 (委託料) 1,500千円 ○ビーチの多面的利用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ビーチテニスの国際大会等の開催支援 (補助金) 500千円 	   	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①サーフィン等利用客数 (+68,538人) ②年間観光消費額 (+2,847.46百万円) ③「地方コト消費型」観光メニューの開発数 (+33件) ④移住促進事業による移住者数 (+440人) 	関連URL 交付金の具体的使途・実施体制・効果検証 https://www.hyugacity.jp/display.php?cont=160822094103	

事業概要【住んでみたい、そして住み続けたい「西都市の暮らし」魅力発信・移住定住促進事業】

推進当初

申請者	宮崎県西都市	初回採択回	令和2年度第1回募集	
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	292,232千円 (69,510千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 本市の持つ「住みよさ」という強みを生かした移住施策に取り組む 市民生活の中心となる市街地の活性化により、住みよさの魅力を高め、将来にわたって住み続けたいと思える西都市づくりを目指す 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	1.移住・関係人口増加シティブロモーション事業 (1)シティブロモーション推進事業(委託料)22,022千円 市が専門業者等にシティブロモーションアドバイザー業務を委託。まちづくり会社に対するアドバイザーによるアドバイスやサポートは継続するものの、まちづくり会社主導で事業を実施する。 (2)ワンストップ移住・定住支援センター運営事業 (委託料)6,799千円 移住・定住支援センターを運営するとともに、移住相談会に出展する。 2.共創によるまちづくり推進事業 (1)まちのリノベーション事業(委託料)14,707千円 実務的な能力育成を図るまちづくり人材育成業務とまちづくり実践のコーディネート業務を委託し、参加者の能力育成から事業実践までを伴走支援することにより、まちづくり人材の育成を図る。 (2)まちのイノベーション事業(委託料)25,982千円 ワンストップ創業・事業承継支援センターの運営による創業・事業承継支援の推進やオープンスポット利活用促進事業としてチャレンジショップ及びフリースペースの運営による賑わいの創出を行う。			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①事業による移住者数 (+430人) ②事業によるさいとファンクラブ会員数 (+2,100人) ③事業により増加した中心市街地の歩行者数 (+534人) ④支援事業による創業数 (+10件)		関連URL	調整中

事業概要【農林水産業における環境貢献型カーボンニュートラル産業創出事業】

推進当初

申請者	宮崎県ほか2自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	387,012千円 (122,552千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 農林水産業における資源循環の基盤を活かした「環境貢献型カーボンニュートラル産業の創出」に取り組み、環境負荷低減や有機農業によって生産された農林水産物の新たな資源循環ブランドを創出する。 ブランドに関連する加工品の製造や流通販売分野などのサプライチェーンと連携した販路開拓等を強化して、地域経済の活性化・促進を図り、コロナ禍等を契機とした地方・田園回帰の流れとの相乗効果による新ビジネス・雇用の創出によって農山漁村におけるヒト、モノ、カネ好循環の実現を目指す。 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>I 人材育成や新たな仕組みの構築に資する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 農山漁村の資源等を活かした新たな需要創出やそのために必要な人材の育成等による地域ブランド価値の向上 16,615千円 持続可能な農業に貢献する指導体制整備や産地づくり・有機栽培等の新たな認証基準づくり 14,376千円 等 <p>II 消費や投資の拡大、人的交流や理解醸成等に資する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 未利用木質資源や家畜排せつ物等バイオマス資源の利活用によるエネルギー推進や新製品の開発 38,608千円 カーボンニュートラルに寄与し付加価値を高める農林水産物の生産体制の強化 31,505千円 等 		 <p>新たな重要創出にむけた異業種分野人材による事業プランの検討</p>	 <p>畜産バイオマス活用による有機肥料(消化液)散布 ※消化液 =バイオガスプラントの発酵残渣</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①木材輸出額 (+119.4百万円) ②環境に配慮したブランド価値を創出する産地数 (+3箇所) ③事業で支援した畜産バイオマス発電施設数 (+2基) ④有機JAS認証面積 (+90ha) 		関連URL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/sesaku/chiho/index.html

事業概要【東九州メディカルバレー構想に基づく医療関連機器成長戦略事業】

推進当初

申請者	宮崎県ほか4自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	98,294千円 (36,322千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	東九州メディカルバレー構想を推進するため、大分県、宮崎県、宮崎県内において特にものづくり企業が集積している県北自治体による広域連携により、東九州地域の特徴である血液・血管関連の医療機器を中心とし、介護・福祉機器分野を含む医療関連機器産業の国際競争力及び産業競争力の強化と海外市場への展開を見据えた研究開発の促進、地場企業の育成と成長、国内外における医療関連技術人材の育成などに取り組む。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>①宮崎県：メディカルバレー推進プラットフォームによる機器開発等促進事業 5,126千円 (関連機関でプラットフォームを構築し、専門的な知識を有するコーディネーターを配置し機器開発を推進)</p> <p>②宮崎県：機器開発基盤強化事業 (開発支援補助金、展示会出展支援等) 15,498千円</p> <p>③延岡市・日向市・門川町：宮崎県北部メディカル産業推進協議会による 参入開発促進事業 (セミナー、オンライン商談等の委託) 9,958千円</p> <p>④大分県：APUの海外ネットワークを活用した医療関連機器海外展開事業 4,620千円</p> <p>⑤宮崎県：海外展開促進事業 (④、⑤ともに、海外における市場調査、開発製品の販売促進及び医療機関や福祉施設とのネットワークの構築)</p>	<p>研究会総会</p>  <p>海外展開促進事業</p>  <p>開発製品</p>  <p>展示会出展支援</p> 	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①医療・介護・福祉関連機器の市場化件数 (+7件)</p> <p>②メディカルバレー推進プラットフォームによる「開発実現等検証会議」で認定された事業件数 (+12件)</p> <p>③海外大学・医療機関・介護・福祉施設との調査マッチング件数 (+9件)</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p>https://www.pref.miyazaki.lg.jp/shokuhin-medical/shigoto/shokogyo/medical_valley/index.html</p> <p>(効果検証)</p> <p>https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/sesaku/chiho/index.html</p>

※宮崎県、延岡市、日向市、門川市、大分県の広域連携事業

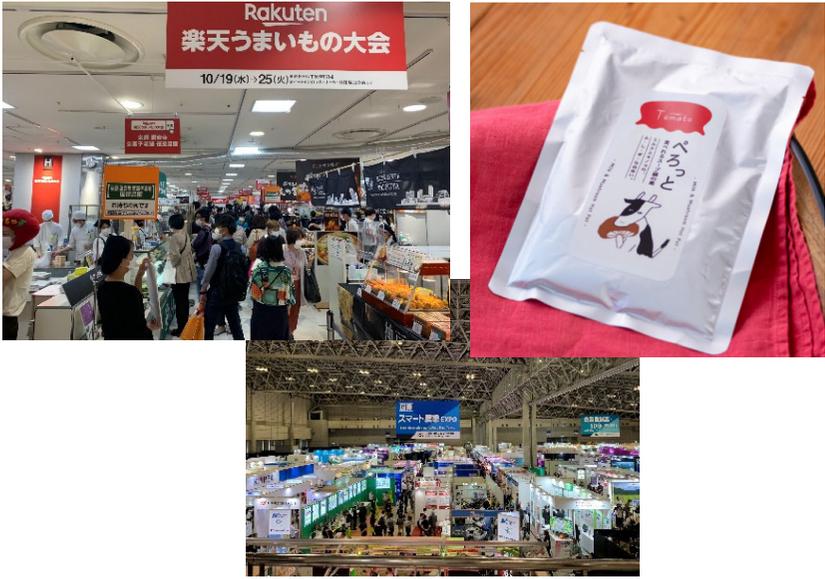
事業概要【みやざきDXさがけプロジェクト推進事業】

推進当初

申請者	宮崎県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	227,612千円 (78,542千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・DX塾を開設し、事例を通してDXに関する知識や手法を学びDX人材を育成することで「実装支援」に繋げる。 ・DXに関する研修会の開催し「意識啓発」を図り、併せてサポートセンターを開設し、相談体制を構築する。 ・学生を対象としたデジタルスキル講座、IT分野のインターンシッププログラムなどにより「人材育成」に取り組む。 ・農業者を支援する人材育成や、データ分析手法の導入、スマート技術等の活用を通してスマート農業を推進する。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○DX塾による人材育成や研修会を通じた意識啓発を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会、DX塾の開催 (委託料) 22,000千円 <p>○サポートセンター (相談窓口) を設置し、デジタル化に対するアドバイスや各種支援策の案内、業務改善に向けた伴走支援などを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サポートセンター設置・運営 (委託料) 22,500千円 <p>○学生を対象としたプログラミング講座やインターンシッププログラムなどを通じた人材育成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラミング講座等の運営 (委託料) 18,800千円 <p>○スマート農業推進に向け、技術的助言やデータ分析ツール導入、事例検証などを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術助言等による支援 (委託料等) 1,842千円 ・ スマート農業技術の実地検証や事例創出 (委託料) 5,400千円 等 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①業務のデジタル化に着手した事業者数 (+300件) ②養成したデジタル人材による事業者支援件数 (+180件) ③スマート農業導入戸数 (+60戸) ④育成された学生等数 (+120人) 		<p>【DX塾(フィールドワーク)】</p>  <p>【プログラミング講座】</p>  <p>【インターンシップ】</p>  <p>【スマート農業(実用検証)】</p> 
		関連URL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/sesaku/chiho/index.html

事業概要【みやざき版地域経済循環モデル構築事業】

推進当初

申請者	宮崎県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	425,301千円 (162,352千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<p>地域資源を生かした産業である1次産業の「強み」(=野菜・果物・畜産物・水産物・林産物)を、デジタル、観光、バイオ、ケミカル、デザインなど、様々な他の地域資源とを結びつけ、地域の核となる企業や個人のネットワークやプロジェクト(みやざき版地域経済循環モデル)を県内各地に生み出すことによって、裾野が広く多様性豊かな循環型の産業構造を構築し、持続可能な地域の発展に寄与する。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域経済循環ビジョンの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏での大型プロモーション等による新しい経済循環モデルの経済効果の検証(委託料)34,000千円 ○みやざき版地域経済循環モデル構築支援 <ul style="list-style-type: none"> ・地域循環モデルのサービス・商品等に係る効果的なブランディングに関する支援(委託料)31,344千円 ・地域資源から生まれるサービス・商品等の国内外展開手法を地域の事業者が獲得するための支援(委託料)43,866千円 ○地域経済循環モデルの核となる農業基盤強化 <ul style="list-style-type: none"> ・農業分野における異業種企業の参入促進(委託料)2,518千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域経済循環モデルの取組事例創出数(+20件) ②1次産業と2次・3次産業のマッチング件数(+95件) ③本事業により海外展開に取り組んだ事業者数(+75件) ④本事業により支援した商品・サービスの磨き上げ件数(+105件) 		
		関連URL	 <p>https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/sesaku/chiho/index.html</p>

事業概要【地域活性化に向けた新たな成長モデル実現プロジェクト】

推進当初

申請者	宮崎県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	100,841千円 (34,996千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域企業の存続のため、社会情勢の変化に柔軟に対応し、成長への機会と捉えて取り組む企業の育成を図る。 ・他の模範となる新たな成長モデルの構築に積極的に取り組む企業の育成を図る。 ・県内産業の多様化を進め、県内人口の流出抑制に寄与する魅力ある企業の創出を図る。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○事業戦略策定支援事業 市町村や商工団体等と連携しながら支援対象企業の発掘を行う。外部審査を通じて選定された支援対象企業に対し、中小企業診断士等で構成する支援チームが、長期的な視点で当該企業の経営分析や課題の掘り起こしを行い、社会情勢の変化に対応した新たな事業戦略の策定を支援する。(委託料：9,430千円)</p> <p>○新たなビジネスモデル構築サポート事業 支援チームによる定期的な企業訪問や、技術的課題などの専門性を要するサポートが求められる場合については最適な専門家をマッチングするなど、効果的な伴走支援を実施する。(委託料：25,566千円)</p>		 <p>企業訪問 相談対応</p>  <p>専門家派遣</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①支援を通じて企業が取組んだ新たな事業数 (+ 18件) ②支援企業数 (+ 21社) ③面談等の支援回数 (+ 120件) ④労働生産性が向上した企業数 (+ 9社) 		関連URL https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/sesaku/chiho/index.html https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kigyos/hinko/shigoto/chushokigyo/20230629144256.html

事業概要【ウィズコロナ時代の「スポーツランドみやざき」まちづくり事業】

推進当初

申請者	宮崎県	初回採択回	令和4年度第2回募集	
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	203,197千円 (64,000千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツキャンプや合宿受入の全県展開を図り、新たなキャンプ等の誘致や県外からの誘客促進を図る ・本県観光の魅力について、海外向けにSNS等で効果的な情報発信を行い、インバウンド誘客促進を図る ・ゴルフツーリズムについて、戦略的な情報発信を行い、ゴルフ客の国内外からの誘客拡大を図る 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○誘致セミナーの開催及びコーディネーター委託 <ul style="list-style-type: none"> ・誘致セールス等の実施 (委託費) 1,000千円 ○市町村等を対象にした研修等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・受入施設の維持管理強化への支援 (委託費) 3,000千円 ○本県のスポーツ、食、自然などの観光コンテンツの情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・公式SNSの運用 (委託費) 11,000千円 ○OTAを活用したデジタルマーケティング・プロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルプロモーションの実施 (委託費) 37,500千円 ○AGTC開催をフックとした戦略的なゴルフツーリズムの情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフツーリズムプロモーションの実施 (委託費) 9,500千円 ○研修・セミナーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフツーリズム人材育成 (委託費) 2,000千円 		 <p>【侍ジャパン宮崎キャンプ2023】</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①スポーツキャンプ・合宿延べ参加人数 (+73,422人) ②プロスポーツキャンプ観客数 (+653,130人) ③観光消費額 (+64,601百万円) ④県公式SNSフォロワー数 (+37,427人) 		関連URL https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/sesaku/chiho/index.html	

申請者	宮崎県延岡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	363,315千円 (81,663千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	地域内企業の成長、分配を促進し、加えて、分配された所得の支出を域外消費から域内消費へと転換を誘導することで、域内経済の好循環を生み出し、住民が日常生活を送るために必要な各種サービス産業を維持するための経済規模を実現する。併せて、市民のまちづくりへの参画を促進するための住民の主体性や信頼性・絆を高める「ソーシャルキャピタル」をより高めていくことで、経済的自立、市民との共創に基づく持続可能なまちづくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>1. 一定規模の経済活力の維持（「成長」「分配」「域内消費」の好循環）を実現するための事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業拡大・新分野進出・第二創業等支援事業（補助金10,000千円、事務費、広告費等365千円） ・創業支援等事業計画推進事業（補助金8,585千円） ・デジタル人材育成、副業、兼業人材の活用支援事業（委託費13,501千円、事務費514千円、補助金1,000千円） <p>2. ソーシャルキャピタルを高めるための事業</p> <p>3. 1及び2を推進するためのツール（地域通貨制度）の活用推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域通貨「のべおかCOIN」の本格運用事業（委託費34,281千円、マネーチャージ手数料990千円） </div> <div style="flex: 1;"> <p style="font-size: small;">市民（ユーザ） のべおかCOINアプリ 地域ポイント 580pt 地域マネー 3,000円 お知らせクーポン</p> <p style="font-size: small;">市民（ユーザー） のべおかCOINアプリ 地域ポイント 580pt 地域マネー 3,000円 お知らせクーポン</p> <p style="font-size: small;">自治体 加盟店・企業等</p> <p style="font-size: small;">のべおかCOIN 運営事務局 プロモーション イベント開催 経費の精算 等</p> </div> </div>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①・・・支援事業者の付加価値額向上率（+5%） ②・・・「のべおかCOIN」マネーチャージ総額（+860,000千円） ③・・・事業者支援の件数（+65件） ④・・・デジタル人材研修等の参加人数（+490人） 		
	関連URL	（交付金の具体的用途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/1/30649.html	

事業概要【宮崎県産業人財育成プラットフォーム連携強化事業】

推進当初

申請者	宮崎県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	42,750千円 (14,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	産業人財育成プラットフォームについて、従来の県及び事務局の宮崎大学が牽引する体制から、各構成機関が主体的に各プロジェクトへ参画する体制への転換を図るとともに、オールみやざきで、地域を支える産業人財の育成・確保・定着に取り組み、本県産業の発展による地方創生を実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○産業人財育成・確保コーディネート事業 プラットフォーム構成機関の課題や役割を整理し、各種事業の連携強化を図るとともに、構成機関が行う研修を体系的に分類して、専用HPに一元化する。 【主な経費】WEBサイト作成費、意見交換等に要する経費等 (補助金) 8,000千円</p> <p>○若者の県内進学・就職・定着プロジェクト 県内高校生・大学生等が、就職の前段階として県内企業と気軽に意見交換できる機会を設けて相互理解を図るとともに、県内企業に対して質の高いインターンシップの実施等を支援する。 【主な経費】講師謝金、会場使用料等 (補助金) 6,000千円</p>		  <p>〈企業向けインターンシップセミナーの様子〉</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①県内高等教育機関卒業者の県内就職率 (+3.20%) ②本事業参加学生の県内企業等就職者数 (+90人) ③本事業を通してインターンシップを実施した企業等の数 (+75社) ④県内企業・団体等と意見交換した延べ回数 (+300回)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/sesaku/chiho/index.html</p>

申請者	宮崎県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	138,111千円 (50,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<p>中山間地域への人材還流を目指し、現金収入化が進めやすく参入障壁が低い造林作業や特用林産業への就業に繋げるための短期・中期のインターンシップ事業等を推進するとともに、効率的な森林経営や企業経営を進めるために必要な森林資源情報のデジタル化や原木流通のデジタル化の推進に資する事業に取り組む。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 55%;"> <p>① 人材還流のきっかけとなる造林作業・特用林産業への短期・中期インターンシップ事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ実施 (委託料) 19,000千円 <p>② 市町村や森林組合等、森林資源に関するステークホルダーが活用できる森林クラウドシステムの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計、データ移行等 (委託料) 15,000千円 <p>③ 原木流通情報のデジタル化及び情報ネットワークモデルの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム及びアプリ構築 (補助金) 6,000千円 <p>④ 森林産業のデジタル化を担う企業人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育成プログラムの作成・実証 (委託料) 10,000千円 </div> <div style="width: 40%; text-align: center;"> <p>The diagram illustrates the digitalization of forest resource information. At the top, a 'City Office' (市役所) icon is connected by an arrow labeled '伐採情報の確認' (Check for logging information) to a 'Cloud' icon labeled '原木管理クラウド' (Log Management Cloud). Below this, a horizontal flow shows '伐採現場情報' (Logging site information) leading to '市場出荷情報' (Market shipping information), then '販売情報' (Sales information), and finally '出荷情報' (Shipping information). The '伐採現場情報' step includes icons for '(山元土場)' (Logging site) and '(運搬)' (Transportation) with a note '二次元コードを活用' (Utilizing 2D codes). The '販売情報' step includes an icon for '(木材市場)' (Lumber market) with a note 'クラウドの管理' (Cloud management). The '出荷情報' step includes an icon for '(製材所)' (Lumber mill).</p> </div> </div>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>① 新規林業就業者 (+450人)</p> <p>② 森林クラウドシステム等を使用する市町村の数 (+34市町村等)</p> <p>③ デジタル化に取り組む原木市場数 (+8箇所)</p>		
	関連URL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/sesaku/chiho/index.html	

事業概要【持続可能な農漁村の実現に向けた資源・経済循環構造転換推進事業】

推進当初

申請者	宮崎県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	383,199千円 (134,769千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	本県の基幹産業である農水産業において、「人材の確保」、「デジタル化による生産性の向上及び働き方改革」、「地域資源の循環」の取組を一体的に推進することにより、農水産業が、本県への移住者や女性・高齢者等多様な人材にとって、安心して働き・活躍することができる受け皿となるとともに、資源・経済循環構造への転換を図ることで、持続可能な農漁村の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○新規就農者確保の取組 ・施設整備、技術修得支援（補助金）17,134千円 ・HPの制作、事業承継支援等（委託料）15,000千円 ○農業における雇用人材確保の取組 ・デジタルマッチング導入や働きやすい環境づくり等支援（補助金）6,800千円 ○農業における外国人材確保の取組 ・外国人コンシェルジュ設置や受入体制整備等支援（補助金）4,090千円 ・外国人受入れに受けた研修会開催（報償費等）242千円 ○漁業における新規就業者確保の取組 ・漁業技術支援アプリの機能強化（委託費）11,000千円 ・産直EC開発費用等支援（補助金）6,648千円 ・産直EC研修会開催（報償費等）244千円 ○加工・業務用野菜、施設野菜の生産体制強化の取組 ・デジタルツール開発等の取組（委託費）51,994千円 ・デジタルツールを活用した受委託仕組みづくり支援（補助金）2,500千円 ○堆肥の利用拡大促進の取組 ・堆肥のマッチング体制構築等（委託費）3,200千円 ○地域資源の利活用促進の取組 ・地域資源を活用したモデル創出のための仕組みづくり（委託費）15,917千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①新規就業者数 (+1,680人) ②農業法人における多様な雇用人材数 (+2,705人) ③デジタル化により生産性向上に取り組む産地数 (+6産地) ④地域資源の活用モデル数 (+4事例)</p>		
	関連URL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/sesaku/chiho/index.html	

事業概要【「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業】

推進当初

申請者	宮崎県延岡市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	840,134千円 (145,492千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<p>・「空飛ぶクルマ」を医師搬送または救急搬送などに活用し、既存の救急車やドクターカー、ドクターヘリなどの救急モビリティと連携し、最適な搬送経路により、迅速な医療措置につなげ、助かる命を増やすことを目指すとともに、防災分野においても、災害時の物資や人の輸送で活用するなど、防災対応力を強化する。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○「助かる命を増やす」ためのさらなる新技術実装によるQaaSシステム高度化事業 (56,314千円)</p> <p>○「空飛ぶクルマ」医療・防災利用促進事業 (40,447千円)</p> <p>○「空飛ぶクルマにおける」GISクラウドシステム活用事業 (48,731千円)</p>	<p>(写真はイメージになります)</p> 	
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①社会動態の減少数抑制 (+100人)</p> <p>②安心感が高まったと回答した市民の割合 (+80%)</p> <p>③救命救急時における医療体制への負荷軽減が改善した割合 (+100%)</p> <p>④救命救急医療現場の取組に共感し、研修を希望する研修医等・医学生の受け入れ人数 (+14人)</p>	<p>関連URL</p>	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)</p> <p>https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/1/30649.html</p>

事業概要【市民の行動変容を促す新時代ヘルスケア推進事業】

推進当初

<p>申請者</p>	<p>宮崎県延岡市</p>	<p>初回採択回</p>	<p>令和5年度第2回募集</p>
<p>事業計画期間</p>	<p>R5-R7年度</p>	<p>期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)</p>	<p>311,300千円 (129,000千円)</p>
<p>事業タイプ・類型</p>	<p>地方創生推進タイプ・横展開型</p>	<p>事業分野</p>	<p>まちづくり分野</p>
<p>目的 (効果)</p>	<p>デジタル技術などの活用などにより、健康無関心層・低関心層も巻き込んで、高齢化社会への積極的な予防策を構築する。社会参加や健康づくり活動の増加を通して地域コミュニティを活性化させ、地域内の消費活動の活発化による地域経済の活性化を実現させる。そして、市民の健康寿命の延伸や社会参加の促進など市民のウェルビーイングを高めることで、住み続けたいまちであると考えてもらうことで人口動態の減少の抑制をめざす。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○アプリの登録促進とイベントの活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web広告等の展開 (委託料) 1,100千円 ○健康リスクの把握による行動変容の促進 ・データベースの構築・データ連携の整理および疾病等のリスクの予測AIの開発 (委託料) 127,900千円 		 <p>のべおか健康マイレージアプリを通してイベント等を活性化</p> <p>PHRアプリを通して健康リスクを把握</p>
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①人口動態 (住民基本台帳) における社会動態の減少数の抑制 (+60人) ②イベントの参加者数および公民館等利用者数 (+8,004人) ③のべおか健康マイレージアプリの付与ポイント数 (+900万ポイント) ④要介護認定率 (年齢調整後) (▲0.90%) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証)</p> <p>https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/1/30649.html</p>

事業概要【「自然といのちを大切に作る地域づくり」による移住・交流人口増促進事業】

推進当初

申請者	宮崎県延岡市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	224,089千円 (85,886千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成事業「里山塾」を実施し、動植物の生態系と人間の営みとの調和を図る地域づくりを行う。 ・デジタル技術等を活用した、鳥獣捕獲の効率化や鳥獣を寄せ付けない取組みにより、作物被害の減少を図る。 ・「里山塾」の中で、狩猟講習会やワナ設置研修会等を実施し、狩猟者の育成、確保を図る。 ・ロボットを活用して、農業経験のない移住者でも、農業に取り組むことのできる環境を整備し、支援を行う。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥獣害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーニング調査及び罠設置、講演会指導等 (委託料) 11,000千円 ・機材の設置作業及び検証 (委託料) 25,674千円 ・鳥獣出没・捕獲マップ作成 (委託料) 1,639千円 ※ハード事業 対策機器開発及び整備、検証 11,471千円 ○「里山塾」の開催、生態系学習及び技術伝承 <ul style="list-style-type: none"> ・講習・体験・罠仕掛け実践 (講師謝金、旅費、需用費) 2,546千円 ・罠かけ名人技術の形式知化 (委託料) 5,500千円 ○ロボットを活用した稲作支援の実証、操作指導 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会開催 (委託料) 23,400千円 ○移住促進のための魅力発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談会、PR事業 (需用費、役務費、委託料、使用料) 4,656千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ① 県外からの移住者数 (+45人) ② 人材育成事業「里山塾」の参加者数 (+150人) ③ 農作物鳥獣被害額低下 (▲6,000千円) ④ 新規就農者数の増加 (+15人) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/1/30649.html</p>

申請者	宮崎県西都市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	112,272千円 (51,414千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<p>観光ターゲットを見定め、観光誘客と観光消費につながる環境整備や設計を行うとともに、地域資源の発掘や開発、磨き上げを行うことで付加価値を高め、外貨を稼ぐ仕組みを作り、地域の課題解決や地域経済の活性化につなげることを目指す。</p>		
<p>事業概要・主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>1.観光コンテンツ開発事業 委託料 19,602千円 マーケティング調査により絞り込んだターゲットに訴求する体験メニューを中心とした観光コンテンツの発掘や磨き上げを行う。</p> <p>2.「日本版DMO登録制度」登録のための地域DMO立ち上げに向けた取組 委託料 2,640千円 観光により地域の「稼ぐ力」を引き出し、地域全体として利益を生み、地域を活性化することを目的に「日本版DMO登録制度」への登録を目指す。</p> <p>3.地域商社事業 委託料 12,672千円 マーケティング調査により絞り込んだターゲットに訴求する、西都市の豊かな農畜産物等を活用した地域産品となり得る地域資源の発掘や磨き上げを行う。</p> <p>4.観光情報一元化・発信強化事業 委託料 5,500千円 デジタル化に対応した効果的な情報発信を行うため、情報の一元化及び「見える化」による発信強化を図る。</p> <p>5.ブランディング事業 委託料 11,000千円 誘客、観光コンテンツ及び地域産品開発戦略に基づき、ブランディングを行う。</p>		
KPI	<p>①観光客一人あたりの消費額 (+985円)</p> <p>②開発した観光コンテンツの売上額 (+1,500千円)</p> <p>③開発した地場産品の売上額 (+1,500千円)</p> <p>④「西都原ガイダンスセンターこのはな館」来館者数 (+1.7万人)</p>	関連URL	https://www.city.saito.lg.jp/shiseigyosei/keikau_hoshin/post_1423.html

申請者	宮崎県椎葉村	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	69,419千円 (26,262千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	UIターンによる移住者の獲得、事業承継による雇用創出、関係人口の増加を促進し、第6次長期総合計画基本構想である「かえりたい「郷」で生きていく。」の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>1. 移住促進の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ア)プッシュ型情報発信 (使用料1,056千円) イ)オンラインイベント (負担金165千円) ウ)冊子による情報発信 (委託料1,100千円) エ)移住サポートセンタ運用 (報償費1,821千円、借上料360千円、使用料30千円) <p>2. 仕事創出の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> オ)事業承継webページでの発信 (委託料1,155千円) カ)ビジネス創出支援 (委託料4,851千円) キ)ワーケーション創出事業 (委託料6,078千円) ク)未来づくり人材・関係構築事業 (委託料3,444千円) <p>3. 教育環境充実の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ケ)自然教育体制づくり事業 (報償費920千円) コ)椎葉村学創出事業 (補助金1,200千円) 		 <p>○自然教育体制づくり事業での写真</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①支援事業を通じて取り組まれたローカルビジネスの実施件数 (+6件) ②事業を通しての移住者数 (+15人) ③20代・30代の人口社会増減数 (+6人) ④チャレンジ施設での事業実施件数 (+2件) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調整中 (効果検証) ・調整中

申請者	宮崎県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	412,681千円 (159,227千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	コロナ禍・物価高騰等やデジタル化への対応を図り、本県観光の着実な再生と更なる活性化を推進するため、食やスポーツ、神話、自然・森林といった本県の強みである「5つのS」を最大限に生かした観光誘客等の促進や戦略的な観光プロモーションを実施する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>1 県内周遊・長期滞在に繋げる「5つのS」観光誘客対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○神話を活かした誘客事業 <ul style="list-style-type: none"> ・観光ガイドシステム及び電子御朱印の作成等 (委託費) 18,000千円 ○自然、森林を生かした誘客 <ul style="list-style-type: none"> ・自然・森林から得られる癒やしをテーマとした広報媒体制作、インフラ施設を巡るマップ作成 (委託費) 17,000千円 ○食を生かした誘客 <ul style="list-style-type: none"> ・食をテーマとした参加型周遊イベント (補助金) 15,000千円 ○スポーツ・アクティビティを生かした誘客事業 <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ会場と周辺観光地の周遊促進企画 (補助金) 9,000千円 ・WBCキャンプ来訪者分析及びスポーツ合宿誘致動画製作 (委託料) 31,000千円 <p>2 九州内外に向けた戦略的な「5つのS」民間連携プロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者等との連携PR (補助金) 24,000千円 ・メタバース構築 (委託料) 17,600千円 ・旅行展示会での観光PR (補助金) 4,000千円 <p>3 次代の観光宮崎を見据えた持続可能な「5つのS」観光地域づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング等に知見のある外部専門家配置(補助金) 13,865千円 ・観光人材育成のための養成プログラム等実施 (補助金) 9,762千円 </div> <div style="flex: 1;"> </div> </div>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における観光消費額 (+4,890百万円)</p> <p>②観光入込客数 (+3,500千人回)</p> <p>③延べ宿泊者数 (+1,000千人泊)</p> <p>④県外からのキャンプ・合宿延べ参加者数 (+75千人)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.miyazaki.lg.jp/ken se/sesaku/chiho/index.html</p>

事業概要【みやざきグリーンイノベーション創出事業】

推進当初

申請者	宮崎県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	412,268千円 (170,260千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・農水産業の生産性向上及び省力化、物流の効率化により、魅力的な産業として稼ぐ力を高める ・粗飼料生産・供給体制の確立及びカーボンクレジット制度活用等を通じ、地域資源循環社会の形成につなげる ・外国人等の多様な人材の確保と中山間農業の集落機能の維持強化により、農水産業の持続的な成長を図る 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>○施設ヒuman自動収穫技術に対応した栽培体系の確立</p> <p>・収穫ロボットの導入実証に要する経費(委託費)20,194千円</p> <p>○効率的で持続可能な物流体制構築の支援</p> <p>・モーダルシフト推進、物流効率化に要する経費(補助金)4,125千円</p> <p>○農業でのカーボンクレジット活用拡大に向けたモデル実証</p> <p>・クレジット認証までの実証に要する調査(委託費)6,248千円</p> <p>○水産業の生産性向上と脱炭素化に向けた藻場モデルの実証</p> <p>・モデル藻場造成に要する経費(工事請負費)40,000千円</p> <p>○畜産粗飼料の自給率100%実現に向けた、コンガヤ機械・施設の導入及びホーター確保支援と中山間地での放牧の推進</p> <p>・コンガヤによる地域飼料生産組織の機能強化(補助金)2,200千円</p> <p>・地域資源活用のための施設・機械の導入(補助金)50,101千円</p> <p>○安定的な人材確保に向けた就農前研修を支援</p> <p>・就農前研修実施に要する経費(委託料)15,318千円</p> </div> <div style="width: 35%;"> <p>生産性向上に向けたイノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産性の向上・省力化 <p>持続性の高い農水産業への転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域資源の創出・活用 <p>両立を支える基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基盤となる人材確保 <p>生産性向上に向けたイノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物流体制の効率化 <p>持続性の高い農水産業への転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ○脱炭素による収益向上 <p>両立を支える基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中山間地農業の維持 <p>環境に配慮した持続可能な農水産業(グリーン成長)を実現</p> </div> </div>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①農水産出荷額 (+82億円) ②農水産業のクレジット認証量 (+600t-CO₂/年) ③粗飼料自給率 (+15%) ④農業法人における雇用人材数 (+2,513人) 		
	関連URL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/sesaku/chiho/index.html	

事業概要【てなんどKOBAYASHIデジタル推進人材育成事業】

推進当初

申請者	宮崎県小林市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	23,730千円 (7,910千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・先端技術を体験する機会を創出により世代間交流の促進や地域経済の活性化を図る。 ・中学生、高校生を対象にしたデジタル推進に資する人材育成を行い、若年層の市内定着とUIターンを促進する。 ・市民団体との連携により、デジタル推進のための人材育成を行い、持続可能なまちづくりを目指す。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○先端技術を体験するイベント (eスポーツや超人スポーツ) の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 2,600千円 <p>○市内の中学生・高校生を対象としたデジタル人材育成のための特別授業と連携先の研究室等の現地研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 2,270千円 ・旅費 1,040千円 <p>○デジタル推進人材育成として、大人の社会塾を発展させた社会人がデジタルについて学び・交流する機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 2,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・K P I ①地域へのUIターン数 (+70人) ・K P I ②市の施策を通じての移住した世帯数 (+15世帯) ・K P I ③デジタル人材育成のための授業の回数 (+5回) ・K P I ④先端科学体験イベント参加者数 (+400人) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) 令和6年9月公表予定 (効果検証) 調整中</p>

地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

申請者	宮崎県西都市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	314,979千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	<p>特別史跡内に所在する観光拠点施設を再整備し、地元産農畜産物を使用した飲食メニューや地域産品の開発・提供を行うとともに、コワーキングスペースやWi-Fi環境、ガイドゾーンの整備、観光情報の発信・案内の強化・充実により観光客の満足度を高め、市内周遊性の向上を図り、地域経済の活性化を目指す。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>観光客が多い花季シーズン中に飲食物の提供がスムーズに行えるようにカウンターを設置し、Wi-Fi環境も整備するなど、観光客のニーズに合ったサービスや機能を備えた施設とする。また、コワーキングスペースやイベント等に活用する交流スペース、ガイドゾーンの整備により、花季シーズン以外の利用を促進し、観光誘客や観光消費の拡大を図る。さらに、デジタル技術を活用した情報発信等により市内周遊性の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備費 222,511千円 ・外構工事費（樹木剪定・伐採含む） 46,592千円 ・Wi-Fi整備、デジタルサイネージ設備設置 10,131千円 ・その他設備等 13,252千円 ・その他事業費（備品購入費等） 22,493千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の観光消費額（+26.7億円） ②西都原ガイドセンターこのはな館来館者数（+2.2万人） ③西都市観光入込客数（+12.21万人） ④観光消費による地域への経済波及効果（+35.89億円） 	関連URL	調整中

事業概要【高鍋駅交流拠点施設整備事業】

拠点補正

申請者	宮崎県高鍋町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	155,611千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野（詳細）	まちづくり分野
目的（効果）	駅舎内に観光案内所、多目的スペース、ギャラリースペース、駅舎外に多目的広場を整備し、駅と中心市街地が連携したイベントや、観光情報の発信を行うことで、まちの魅力を創造し、高鍋町に訪れたい、住み続けたいと思えるようなまちづくりを進める。		
整備内容・利活用方策	駅舎に観光案内所や各スペースを設け、イベントの実施や展示・紹介コーナーの設置等を行い、関係人口・交流人口の増加、駅利用者の利便性向上、情報発信を図る。 駅舎内へのWi-Fi環境を整備し、学生の公共交通の待ち時間におけるタブレット端末を使用した自学習支援の充実等を図るもの。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎改築工事費 : 153,282千円 ・外構工事費 : 11,922千円 ・解体（一部）工事費 : 10,884千円 ・備品購入費 : 2,096千円 ・Wi-Fi設置費 : 37千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数 (+70人) ②イベント開催時の来客数 (+40,000人) ③駅からのデマンド交通利用件数及び駅までのデマンド交通利用件数の合計 (+600件) ④餃子店の売上増加額 (+70,000,000円)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)調整中

事業概要【川原自然公園交流拠点施設整備事業】

拠点補正

申請者	宮崎県木城町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	1,277,869千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	川原自然公園を整備し、手つかずに残っている尾鈴山系・小丸川水系の自然やその空間の中でのアウトドア体験やワーケーション、各種自然体験、食の推進、健康増進、教育・子育て支援等様々なメニューを活用し、町内各施設の観光誘客の促進や滞在時間の延伸、移住や交流・関係人口の拡大、地域の消費拡大に効果的に寄与する施設として整備するとともに、観光消費額の引上げに結び付けていく。		
整備内容・利活用方策	<p>交流拠点施設兼総合案内所やコテージ、オートキャンプサイト、駐車場完備の芝生フリーサイト等を整備し、利便性向上を図るとともに、関係団体や地元農林商工業者と連携した特産品販売や観光PRを行う。また、園内全域Wi-Fiやオンライン予約システム、キャッシュレス決済対応レジを導入することにより利用者増及び売上向上を図り、地域内の消費拡大に寄与する施設とする。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く事業） 【建築工事費】 1,019,809千円</p> <p>○効果促進事業（ハード事業） 【外構整備工事等】 231,012千円 【園内Wi-Fi整備、POSキャッシュレスレジ導入費】 27,048千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①本町における地域全体での観光消費額（+45,367千円）</p> <p>②川原自然公園の収入（+22,719千円）</p> <p>③川原自然公園の利用者数（+8,000人）</p> <p>④町全体の観光客数（+32,000人）</p>		<p>関連URL</p> <p>(調整中)</p>

事業概要【地域の未来を紡ぐ交流拠点整備事業】

拠点補正

申請者	宮崎県椎葉村	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	115,097千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	2020年度に廃校となった小崎小学校跡地に、地域住民及び村外からの人たちが集う交流拠点施設として整備を行い、地区計画事業の拠点施設としての活用及びワーケーション施設として村外企業をはじめとするワーケーション誘致につなげていく。また、施設が地域の中心部に位置することで、集落支援の拠点として活用されるほか、地域住民の交流促進及び地域活動の活性化を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>地域コミュニティ活動や伝統文化である「神楽」や「山法師踊り」、「郷土料理」の継承活動を行う拠点を整備する。 WI-FI環境を整備し、自然に囲まれたロケーションを活かしワーケーション施設として活用され、村外者と住民の交流が生まれることで、移住者及び関係人口の創出が図られる。</p> <p>【施設整備】 106,519千円 建築工事、電気設備工事等</p> <p>【効果促進事業】 5,240千円（ハード事業） 外構工事、交流活動環境整備等 WI-FI環境整備</p> <p>【効果促進事業】 3,338千円（ソフト事業） 什器等整備、収納棚等設置</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域へのUIターン者数（+15人） ②当該施設を利用した村外者の延べ人数（+250人） ②地域情報発信SNSのフォロワー数（+250人） ③当該施設がイベントで活用された日数（+80日）</p>		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制） ・調整中 （効果検証） ・調整中</p>